

令和2年度 第1回羽曳野市立図書館協議会会議録（要録）

日 時： 令和2年7月28日(火) 午後1時30分～午後2時20分

場 所： 羽曳野市役所 別館3階 会議室

出席者：(委員) 脇谷委員、菊川委員、松井委員、渡辺委員、上野委員、小澤委員、中平委員、河津委員、
中原委員

(教育委員会) 高井教育次長、上野生涯学習室長

(事務局) 細井課長事務取扱い参事、岩佐課長補佐、安東

欠席者： なし

傍聴者： 0人

●委嘱状交付 2名

●開会

教育次長挨拶

事務局より、議事録の要録をWEB及び中央図書館で紙ベースで公開することを報告

(教育次長 公務のため退席)

事務局職員の紹介

協議会に関する条例規則等の説明

●議事

議題 新型コロナウイルス感染症にかかるこの間の図書館サービスの実施状況について

事務局：(当日資料「新型コロナウイルス感染症にかかるこの間の図書館サービスの実施状況について」に基づき報告)

会長：何か質問等はありませんか。

委員：アルコール消毒のことは他市でも聞きますが、本でも消毒は可能ですか？

事務局：図書館の本はフィルムコーティングされているので、その部分は拭きとったりすることは可能です。

委員：ウィルスが消えるまで数日かかるので、返却後何日か置いておくところもあると聞いているが？

また、本の紙の部分の消毒は？

事務局：そこまではやっていない。消毒後いったんブックトラックに置いているくらい。

委員：消毒器とかのことも聞くが。

事務局：検討はされましたが高価なこともあり、購入には至っていない。

委員：この間、一斉休校とかで子どもたちの居場所がなく、工夫して学校図書館などを利用できないかという地域のお母さん方の要望があり、教育長にもお話したことがあるが、今後のことも考えれば、検討をしてほしい。

会長：こどもの自粛期間も長かったし、市全体みんなが考えないといけない。こういう時、みんなで子どもたちをサポートしていくのは大事。学校図書館の利用というのは考えたこともなかったが、いいアイデアかもしれない。

委員：図書館が休館になって不便で困るというのが新聞などでよく投書されていた。こんな時だからこそ「読書」と思った人は多かったと思います。そんな時に本が読みたい人の手に届かない。今後のこ

とも考えると何らかの方法が必要。

消毒は2日くらい置いておけば大丈夫と言われてますが、科学的にどうかというのは図書館界でもきちんと検証してほしい。これまでも病院での貸出サービスもやっている自治体があるが、それによって感染が増えたとかいうことはこれまでなかったわけだし、どうやって届けるかを考えてほしい。松原市などは宅配しているし、有料で本を届けるということをしたところもある。乳幼児のおはなし会などは人気があるが、これがストップしてかなり困ってしまったお母さん方もいる。いろいろ課題はあるだろうが、いかにして届けられるかということを考えてほしい。方法としては、市民の力も借りるということも選択肢にあると思う。

会長：小さい子どもさんを持ったお母さんが、外に出られないで自分の子どもと向き合っていると、閉塞感にとらわれて、いろんな面であまり良くない。別の問題も起きてきたりする。私たちボランティアもおはなし会を再開したばかりだが、再び感染者が増えている状況なので、再度おはなし会を中止することを決めただけ。安全を担保しながら、何かできることがあればやっていきたい。なにか考えるところあれば意見をお願いします。

委員：先日、他市の図書館のホームページで動画でおはなし会を発信するという話を聞いたが、そういう方法もこの際考えてもいいのではないかな。万が一のことも考えるなら、リモートでのおはなし会というのもありかなと思う。それは小さい子どもだけではなく、体の不自由な方、外に出ていけないお年寄りにも本を紹介できるのかなと思う。そういうのは難しいでしょうか？

事務局：動画の配信は著作権の問題はありますが、許可してくれる出版社もありますし、不可能ではないと思う。新型コロナについては長く付き合っていかなければならないので、できるかどうかはわからないが、宅配なども含め、それに対する選択肢の一つとしては考えていきたい。先ほど報告したように図書館の利用が戻ってきていないのは、この状況下で、利用を控えている方がいるわけで、そういう方にどういうサービスができるか考えないといけない。

会長：ありがとうございます。他にないようでしたら、一つ提案があります。昨年度末にも協議会の「要望書」として正規の司書職員を増やしてくださいとお願いしました。今回新市長も決まりましたので、今回は「意見書」として同じ内容で出したらどうかと考えています。いかがでしょうか？

（「意見書（案）」委員に配付）

委員：賛成です。正規の職員がいない図書館はいいサービスが提供できない。羽曳野市は、少ない職員でそこそこのサービスを提供しているが、ベテラン職員が定年でいなくなることを危惧している。何とか正規の司書を採用してほしい。

委員：私の所属する羽曳野市の子ども文庫連絡会では、今回の市長選挙で市長候補者に公開質問状を送りました。どの候補も期間のない中、誠実に回答をしていただいた。ここで市長となられた山入端さんの回答をご紹介します。正規司書の配置については、「正規職員の司書を増数する必要性を感じる。今後採用枠を増やしていきたい。」図書館の将来的なビジョンについては、「貴重な歴史的資料の増冊や多岐にわたるサブカルチャー分野の増冊が必要。図書館を利用した地域的イベントの開催、また市役所本館建て替え時に役所への図書室配置なども検討していきたい。」。中学校への司書配置については、「各学校への司書配置の必要性を感じている。各学校への配置が望ましいと考える。」というものでした。どの質問にも前向きに答えてくださっていますので、ぜひ直接お会いしてお話を聞いてみたいと思います。

会長：この意見書を図書館協議会として提出することに賛同される方、挙手をお願いします。ありがとうございます。全員賛成ということでできるだけ早い時期に面談して、意見書を提出したいと思っています。

議題 令和元年度図書館事業報告について

事務局：（『令和元年度図書館業務活動報告書』にもとづき説明）

主な説明は以下のとおり

1. 3回の審議を経て、『第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画』を策定しました。10P
計画を受けて、中央図書館でYAコーナー設置予定です。また、白鳥児童館などの設置図書の新更新支援も検討。その他、中央20周年記念イベントなどを予定しています。
2. 貸出をはじめとするサービスについては低調でした。13P～
全体では前年の約9割の貸出（学校貸出も例外ではない）18P（学校）
予約がほぼ横ばいながら、窓口減、ネット・携帯予約増19P
新たに、団体貸出で府立羽曳野支援学校の利用があった。
今年度の利用状況はコロナ休館や図書費の減額があり、厳しいと推測される。
3. 決算・予算 9P
決算では資料費が減。予算は今年度も同様に減少で1,600万円をきった。
4. 人員は増減ありますが、週5に直すとほぼ同じになります。8P
ご心配いただいておりますように今年度2名が退職予定です。
課題としては、古市図書館の運営（職員体制・開館日など）、図書館コンピュータシステムの更新などがある。

会長：今の説明の中で、意見・質問などないか。

委員：予算の減少については、全庁的なシーリング等がかかっているのか？

事務局：そのとおり。図書館予算の中の大きなものは、会計年度任用職員と資料費となり、職員は減らすわけにはいかないので、仕方なく資料費を削った形になった。

委員：図書館は命に関係することではないが、人の心を落ち着かせるとか、子育て支援とか、年配の方の生きがいとかそういう効果はあるので何とか、市民の皆さんに日頃支持されていることを訴えてほしい。

会長：正職員が今回出席されているお二人で、3月には退職されるということで、ほんとに冷や汗が出るようなすごい危機感を感じる。市長面談が決まったら、ぜひ協議会のほかの委員も出席してほしいと考えるのでよろしくお願いします。

●閉会

生涯学習室長挨拶